

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
①活動機会を充実させます	①質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出します	・京丹後アートフェスティバル2025 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するもの。会期中は鑑賞を重視したプログラム（1）「みるプログラム」として、丹後ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズ「Tango Creator`s Exhibition」の第一弾を開催するほか、市内の文化芸術事業を包括し、一体的に盛り上げる広報連携や、まちじゅうが美術館プロジェクトの継続、また体験を重視したプログラム（2）「知るプログラム」では、アーティストによる連続ワークショップの3年目の成果発表のほか、誰もが気軽に創作体験ができる機会を集めた「アートマルシェ」を今年度は大宮ふれあい工房で行った。 期間：9/6（土）～12/21（日） 会場：京丹後市内各所（大宮ふれあい工房、ほか） 主催：京丹後市、京丹後市教育委員会	生涯学習課	（1）みるプログラム（鑑賞） ①ARTMAP 【部数】21,500部【広報連携】35団体、43事業 ※新規7団体 【累計来場者】18,643人 ②まちじゅうが美術館プロジェクト 公的施設への文化協会加盟団体の作品展示と、通年で展示可能な遊休物件を募集している。 ③「Tango Creator`s Exhibition Vol.1 上前智祐」展 【展覧会】10/18（土）～12/21（日）【来場者】314人 【講演会・パスツアー】11/22（土）【参加者】21人 （2）知るプログラム（体験） ①アーティストによる連続ワークショップ ・金井悠「みなみなさないをするー令和7年度三坂神社墳墓群発掘未調査報告展ー」 【WS実施日】8/3（日）、9/7（日）、10/18（土）【参加者】24人 【報告展】10/18（土）～12/21（日）【来場者】314人 ・宮北裕美「たんごのだんす、どうなっとるだぁ パフォーマンスショーケース」 【WS実施日】8/3（日）、24（日）【参加者】33人 【発表】10/18（土）【来場者】50人 ②アートマルシェ 【実施日】10/18（土）【来場者】320人	R8年度以降は、 ・他課や民間との連携によるネットワークの形成 ・文化芸術による地域資源の拡張 に取り組み、100年後も誇れるまちの文化となりうる「京丹後らしい文化芸術事業のありかた」を提示していく。 今年度より文化庁文化芸術創造拠点形成事業による補助金を活用。 （1）みるプログラム（鑑賞） ①プログラムリーフレット 【継続】 8/25（火）全戸配布予定 ②Tango Creator`s Exhibition Vol.2 川田知志展【継続】 丹後ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズ第2弾。壁画アーティストの専門性と織物の技術を掛け合わせ、新しい壁材に取り組んだ京都府織物・機械金属振興センターとの共同研究の成果を展示する。 展覧会は、10/30～12/28に大宮ふれあい工房で開催し、織物・機械金属振興センター主催の織センフェスティバル期間中には共同研究のプロセスを公開するイベントを実施予定。 （2）知るプログラム（体験） ①100年後の文化、100年後の丹後を考える（仮称）【新規】 このまちの文化を100年後へとつなぎ、つむいでいくためのヒントを学ぶレクチャー型勉強会。市の特色である「織物（地場産業）」、「文化財」、「健康長寿」と芸術に絡めた分野で活躍するかたをゲストに、参加者とこのまちの今後の文化芸術のありかた（かたち）を考える。（全3回）。 ②出張！アーティスト【新規】 多様な視点からコミュニティ形成や共生のヒントを得るためのワークショップをアウトリーチとして行う。 全6回を予定しているが、3回は既存事業や市内施設、地域団体等と連携し実施。残り3回は公募をし、アウトリーチ先を選定する。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
①活動機会を 充実させます	①質の高い文 化芸術を鑑 賞・体験する 機会を創出し ます	・Kaicoー参加型アートプロジェクト『音 気 楽 団（おんきがくだん）』ー機の妖精にきくー 機織り工場の使われなくなった機道具を利用し、音色に耳をすませ、音をさぐり、音であそぶ（1）ワークショップ「はたおり・さぐり」を開催。また、織物文化を培ってきた丹後半島をめぐる（2）パフォーマンス「はたおと・あそび」の鑑賞バスツアーを開催。 期間：9/20（土）～10/5（日） 会場：丹後地域各所 主催：京都:Re-Search実行委員会 構成団体：京都府、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、海の京都DMOほか	京都：Re-Search 実行委員会 (京丹後市含む)	（1）ワークショップ「はたおと・さぐり」京丹後編 サウンドアーティスト鈴木昭男氏によるミニコンサートとお話、機工場の見学の後、ワークショップを実施。 【実施日】9/27（土） 【参加者】15人 （2）パフォーマンス「はたおと・あそび」 与謝野町、京丹後市、伊根町、宮津の4会場を路線バスに乗って、丹後半島の風景とともに鑑賞するバスツアーを開催。 【実施日】10/5（日） 【参加者】20人【来場者】212人	京都府丹後郷土資料館※のリニューアルオープンを契機に、R5～R7年度に実施した「Kaico-参加型アートプロジェクト」を発展させ、取組みの認知度向上を図る予定。 また丹後郷土資料館を核とした地域発のアートプロジェクトとしての定着を目指す（6～11月の期間で実施予定）。 ※宮津市に位置する京都丹後郷土資料館はリニューアルのため、R6年7月～R9年秋まで休館中。 （1）Kaico- 参加型アートプロジェクト「町を縫う」2026 出張ワークショップ 【実施日】9/21（月・祝）こまねこまつり 【実施日】11/1（日） 織センフェスティバル （2）Kaico- 参加型アートプロジェクト「音 気 楽 団」2026 パフォーマンス「はたおと・あそび」 in NeoTAN 【実施日】10/31（土）
		・丹後文化芸術祭 文化芸術の活性化と技術の向上に寄与し、豊かな地域社会の発展と文化芸術の振興を目的として、市町の枠を超えて開催する芸術祭。 会場：京都府丹後文化会館、網野体育センター、ほか 主催：丹後文化芸術祭実行委員会 構成団体：京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町 事務局：京都府丹後文化事業団	丹後文化芸術祭実行委員会 (京丹後市含む)	丹後文化芸術祭として、下記の事業を開催。 （1）第41回丹後吹奏楽フェスティバル（9/20）【来場者】900人 （2）丹後合唱講習会(9/23)【来場者】69人 （3）第46回丹後合唱のつどい(11/16)【来場者】300人 （4）第41回丹後民謡のつどい(11/24)【来場者】219人 （5）第30回丹後和太鼓フェスティバル(12/14)【来場者】350人 （6）第37回ジュニア文化祭(12/21)【来場者】900人 （7）第36回丹後美術工芸展(11/21～23)【来場者】664人 （8）第37回写真丹後展(R7.11～R8.3)【来場者】3,383人 （9）A・R・F（アマチュアロックフェスティバル）(R8.2.15)【来場者】200人	丹後文化芸術祭として、下記の事業を開催予定。 （1）第42回丹後吹奏楽フェスティバル （2）丹後合唱講習会 （3）第47回丹後合唱のつどい （4）第42回丹後民謡のつどい （5）第31回丹後和太鼓フェスティバル （6）第38回ジュニア文化祭 （7）第37回丹後美術工芸展(11/27～29) （8）第38回写真丹後展 （9）A・R・F（アマチュアロックフェスティバル）

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
①活動機会を充実させます	①質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出します	・TANGOまるっば美術館 福祉とアートを横断する観点から、さまざまな壁を超える表現＝ボーダレスアートの作品展。主に福祉現場で生まれた芸術作品を紹介する場として、令和4年度から継続的に活動している。 主催：丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会 構成団体：みねやま福祉会、あみの福祉会、久美の浜福祉会、ほか	丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会（市共催）	メイン展示を大宮ふれあい工房で開催（京丹後アートフェスティバルの期間中に開催）。会期中にはパフォーマンスイベントとして、絵画制作ライブ、トークセッションを開催。また、宮津市で開催された「ちがふち芸術祭in上宮津」でもコラボ展示を行った。 メイン展示 【会期】9/19（金）～10/6（月）【イベント】9/23（火祝）【来場者】200人 コラボ展示「ちがふち芸術祭in上宮津」 【会期】11/15（土）～16（日）	「暮らしにアートを」をコンセプトに、一般的にボーダレスアート/アール・ブリュット/アウトサイダーアートと呼ばれるような作品を集め、展示を行う。出展アーティストは、過去の展覧会（まるっば美術館）の応募者から委員が選出する。 TANGOまるっばアートコレクション 【会期】9/8～28【会場】 弥栄ゆう薬局 【会期】10/6～16【会場】 はごろも苑 ぐるり 【会期】10/21～30【会場】 豆腐カフェもりのさんぽみち 【会期】11/14～15【会場】 ちがふち芸術祭（宮津市）
		・中丸三千繪＆秋川雅史プレミアムデュオ・リサイタル （一社）自治総合センターの採択を受け、宝くじ文化公演として開催。 日程：1/18(日) 会場：京都府丹後文化会館 主催：京丹後市、京丹後市教育委員会、(公財)京都府丹後文化事業団、京都府、(一財)自治総合センター	生涯学習課	ソプラノ中丸三千繪とテノール秋川雅史の共演によるリサイタル。京丹後市出身のピアニスト安達朋博氏も出演した。座席数726に対し、539人の来場者（74%）あり。 【来場者】539人（74%）	R8年度は（一社）自治総合センターに事業申請を行うも不採択であったため、宝くじ文化公演は開催できず。 現在、R9年度の事業申請を行う予定で調整中。
		・Music Fusion in Kyoto音楽祭 京都府（文化政策室）との共催事業。府内一円を音楽で満たし、府内全域で音楽に対する関心を高めることを目的とした音楽祭。 期間：8/11（月祝）～2/23（月祝） 会場：京都府内全域 主催：京都府、Music Fusion Kyoto音楽祭実行委員会	京都府（市共催）	オーケストラコンサート、室内楽コンサート、子ども達が対象の鑑賞型・体験型音楽プログラムを府内全域で開催。 京丹後市においては、地域性のある会場をコーディネートし、「丹後ちりめんとチェンバロの織り成すハーモニー」として、TANGO OPEN CENTER（大宮町）で室内楽コンサートを開催。 【実施日】10/25（土） 【来場者】100人（満席）	京都府（文化政策室）と共催で、府内一円を音楽で満たし、府内全域で音楽に対する関心を高めることを目的とした音楽祭。京都、関西ゆかりのアーティストを中心に、小編成の管弦合奏による室内楽コンサートを実施するもの。 R8年度は京都府内5市5会場で実施予定であり、京丹後市は11/8（日）に久美浜公会堂で弦楽器の室内楽コンサートを開催予定。またそれにあわせ、京丹後アートフェスティバル「出張！アーティスト」と連携して弦楽器製作者によるプレトークを実施する。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
①活動機会を充実させます	①質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出します		生涯学習課		子どもたちに本物の原画に触れる機会をつくろうと、森の中の家安野光雅館（株式会社和久傳）と連携し、久美浜町内の小学生を招待、美術館での鑑賞会と版画のワークショップ、森をつくるための植樹を体験した。 【実施日】6/17（水） 【参加者】かぶと山小学校 4年生 23人 【実施日】6/18（木） 【参加者】高龍小学校 6年生 18人 【実施日】7/1（水） 【参加者】久美浜小学校 3年生 13人 アートフェスティバル期間中、9/13（日）を「和久傳 京丹後市民の日」として、京丹後市民のみ森の中の家安野光雅館の入館が無料となる日を設定。「出張！アーティスト」と連携し、市民への周知やともに盛り上げる連携企画を調整中。
	②だれもが気軽に演奏や発表ができる場を創出します。	・おとまち響プロジェクト 日常的に音楽をはじめ文化活動を行っている市民の練習や発表の場を創設するとともに、誰もが様々な場面や形式で音楽に触れる機会を提供する。 （１）まちかどピアノ事業(大宮ふれあい工房、丹後王国) （２）ピアノ貸出事業(閉校となった学校のピアノ貸出) （３）音楽活動ができる環境を整備(丹後王国 王国シアター、丹後文化会館野外ステージ、峰山総合公園) ※丹後王国、峰山総合公園は練習のみ使用可能	生涯学習課	（１）まちかどピアノ事業について、これまで京都府丹後文化会館に設置していたピアノをR7.12に大宮ふれあい工房へ移設。 （２）ピアノ貸出事業はR7年度「親子で楽しむコンサート」への貸出を実施。 （３）は運営方法等を検討中であり、R8年度以降の整備を予定している。	（１）まちかどピアノ事業について、大宮ふれあい工房に設置しているピアノの利用状況が好調であることから、コンサート利用ができる体制整備について検討を進める。 （２）ピアノ貸出事業について、6月30日時点で2件の貸出申請・貸出希望があり、現在調整中（親子で楽しむコンサート／八丁浜夕日のピアノリサイタル）。 （３）運営方法や音楽やダンス練習等ができる場所を決める等、環境を整備のうえ事業を展開する予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
①活動機会を充実させます	②だれもが気軽に演奏や発表ができる場を創出します。	・第15回京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」 協会に所属する、太鼓、フラダンス、歌謡、モダンバレエ、太極拳、箏、吹奏楽などのサークルが、日ごろの練習の成果をステージ披露。 日程：5/18(日) 会場：京都府丹後文化会館 主催：京丹後市文化協会	文化協会 (市共催)	文化協会加盟35団体による舞台発表を実施。 15回記念として、京丹後市出身のピアニスト永岡奏海氏によるピアノ演奏、京丹後よさこい連、プティエトワールモダンバレエ教室、丹後吹奏楽団による合同ステージ「長寿よさこい 京丹後」、ランチタイムコンサート等を実施。 【出演・スタッフ】35団体、約500人【来場者】700人	第16回京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」を5月31日に丹後文化会館で開催。 文化協会31団体による舞台発表を実施。 【出演・スタッフ】31団体、約500人【来場者】1,400人
		・第15回京丹後市総合文化祭「総合作品展」 写真、絵画、ガラスアート、ちぎり絵、水墨画などのサークルのほか、峰山町内のこども園、小中学校児童生徒、丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会、京丹後アートフェスティバルが出展。 日程：6/7(土)、8(日) 会場：弥栄社会体育館 主催：京丹後市文化協会	文化協会 (市共催)	文化協会加盟18団体による約700点が出展。 作品展示の他、15回記念企画として、京丹後市出身で外科医の故・谷垣雄三の伝記絵本「ひとつぶの麦絵本・原画特別展」、お茶席、生け花体験会、会場BGM生演奏等を実施。 京丹後アートフェスティバルも事業報告の場として、出展している。 【出展数】18団体、約700点【来場者】700人	第16回京丹後市総合文化祭「総合作品展」を4月25日～26日にかけて網野体育センターで開催。 写真、絵画、ガラスアート、ちぎり絵、水墨画などのサークルのほか、大宮町内のこども園、小中学校児童生徒、京丹後アートフェスティバル等が出展。 また、R7年度に引続き、お茶席、会場BGM生演奏等を実施。 【出展数】23団体、約500点【来場者】550人
②人材を育みます	①文化芸術に関する専門人材を配置します	・専門人材の配置（継続） 文化芸術のマネジメント経験を有する職員を生涯学習課へ配置（R5から継続） 期間：令和5年3月～令和8年3月	生涯学習課	京丹後アートフェスティバルの企画・運営、文化芸術のまちづくり推進会議の運営、京丹後市文化協会、丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会等の文化活動を行う団体や個人への助言、芸術系大学の実習受入、京都府や民間の文化芸術事業との連携やコーディネート等を担当している。	R5.3～R8.3の期間に引続き、R8.4～R10.3の期間、生涯学習課に専門人材を配置（継続）。 引続き、京丹後アートフェスティバルの企画・運営等を担う。
	②専門的な指導者を活用します	・アーティスト派遣(アウトリーチ)事業の実施 アーティストを市内の小学校・中学校・高等学校・支援学校等へ派遣する事業。主催事業での実施予定はないが、要望があれば派遣する。	生涯学習課	実施無し。	京丹後アートフェスティバル2026「出張！アーティスト」で、市内公募を行い講師を派遣、多様な視点からコミュニティ形成や共生のヒントを得るためのワークショップをアウトリーチとして行う。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
②人材を育みます	②専門的な指導者を活用します	・専門的な指導者の活用 京丹後アートフェスティバルでは、学校の授業など通常期とは異なった視点、視野をもち、より学びある内容とするため、プロのアーティストや専門性の高いゲストを活用し、プログラムを実施する。	生涯学習課	京丹後アートフェスティバル「Tango Creator`s Exhibition Vol.1 上前智祐」展にて、上前の研究者でありキュレーターの中塚宏行氏を招き、講演会と作家ゆかりの地を巡るバスツアーを実施。本イベントは、京丹後市文化協会の指導者研修会を兼ね、実施した。 【講演会・バスツアー】11/22（土） 【参加者】21人	京丹後アートフェスティバル「知るプログラム（体験）」において、「100年後の文化、100年後の丹後を考える（仮称）」を開催予定（全3回）。 <u>第1回 地場産業×芸術祭「織物の魅力をアートで拡張する」</u> ネクタイ生地生産量日本一を誇る織物のまち山梨県富士吉田市で開催されている「FUJI TEXTILE WEEK」、「ハタオリマチフェスティバル」など、民間と行政の共同事業推進を担ってきたゲストを迎え、丹後での展開の可能性を探る。 NeoTAN（丹後オープンファクトリー）と連携し、11/1（土）にTANGO OPEN CENTERで開催予定。 <u>第2回 認知症×演劇「老いを演じてみる」</u> 認知症ケアに演劇的手法を用いたワークショップを実施。演劇体験を通じて、認知症の人や他者とのコミュニケーションについて考える。 長寿福祉課と連携し、11/21（土）に開催予定。 <u>第3回 震災×メディア「まちの記憶を記録する」（調整中）</u> 北丹後地震から100年の節目に、東日本大震災後で仙台を中心にアート・メディアを媒介としてアーカイブの仕組みづくりを行ってきたゲストを迎え、記憶を記録することについて考える。R9年3月開催を調整中。
	③次世代を担う子どもたちをはぐくみます	・地域学習副読本の活用 令和5年度に全面改訂した地域学習副読本を小学5年生～中学3年生までで活用する。副読本はデータ版も作成しタブレット端末で使用可能とした。	文化財保存活用課	京丹後市地域学習副読本は京丹後市ホームページでも公開中。令和8年度以降も引き続き地域学習副読本の活用を行う。	令和7年度に引続き、地域学習副読本の活用を行う。
		・Music Fusion in Kyoto音楽祭 Music Fusion in Kyoto音楽祭の教育プログラムの一貫で、府内小中学校で鑑賞型、体験型の公演および指導を実施。 期間：8/11（月祝）～2/23（月祝） 会場：京都府内全域 主催：京都府、Music Fusion Kyoto音楽祭実行委員会	京都府（市共催）	京都府主催事業として、10～11月に府内5つの小中学校・支援学校で子ども達を対象に鑑賞型、体験型の公演を実施。 京丹後市からは弥栄小学校が選出され、「木管五重奏ってなあに？」というプログラムを実施。 【実施日】11/4(火) 【参加者】全校児童250人	京都府主催事業として、R8年9月～令和9年2月に府内10校程度の小中学校等を対象に鑑賞型、体験型の公演を公募により実施。 市内では2件応募があり、10/5（月）網野南小学校5年生を対象に弦楽器のプログラムを実施予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
②人材を育みます	③次世代を担う子どもたちをはぐくみます		生涯学習課		子どもたちに本物の原画に触れる機会をつくろうと、森の中の家安野光雅館（株式会社和久傳）と連携し、久美浜町内の小学生を招待、美術館での鑑賞会と版画のワークショップ、森をつくるための植樹を体験した。 【実施日】6/17（水）【参加者】かぶと山小学校4年生 23人 【実施日】6/18（木）【参加者】高龍小学校6年生 18人 【実施日】7/1（水）【参加者】久美浜小学校3年生 13人
③公共施設などを使いやすく整備します。	①公共施設などを使いやすくします	・社会教育施設の維持管理 生涯学習課の所管施設である 峰山林業総合センター（木工体験・会議室の貸館）、いさなご工房（陶芸体験）、大宮ふれあい工房（陶芸体験・染色体験・会議室の貸館）について適切に維持管理を行う。	生涯学習課	【峰山林業総合センター（木工）】 木工体験の利用者について、随時受付している。 【いさなご工房（陶芸）】 R7.9から臨時休館中。今後の方針については現在検討中。 【大宮ふれあい工房（陶芸・染色・貸館）】 陶芸体験、染色体験について随時受付している。まちかどピアノの設置、京丹後アートフェスティバルの会場利用により、文化芸術活動の 拠点化を促進している。展示室の空調設備が故障しており、改修の目途が建っていない点が課題。	【峰山林業総合センター（木工）】 木工体験の利用者について、随時受付している。 【いさなご工房（陶芸）】 R7.9から臨時休館中。今後の方針については現在検討中。 【大宮ふれあい工房（陶芸・染色・貸館）】 陶芸体験、染色体験について随時受付している。 展示室の空調設備についてR8年度も修繕の確保ができず。R9年度、改めて予算要求を行う。
	②創作などができる場を増やします	・旧大宮第三小学校を丹後吹奏楽団の練習場所として、R7.4～R8.3まで使用許可(1年更新)	教育総務課	吹奏楽の練習場所として、R7.4～R8.3まで使用許可(1年更新) R8.4以降も使用許可申請があれば、継続許可する方針である。	吹奏楽の練習場所として、R8.4～R9.3まで使用許可(1年更新)
	③施設間のネットワークを構築します	・京丹後アートフェスティバルで市内文化芸術団体、民間施設等との連携 鑑賞に特化した「みるプログラム」で、これまで個々に活動していた文化芸術活動や文化施設を「ARTMAP」にまとめ、視覚的に提示。市と関係団体、市民団体や個人、民間施設との連携の機会を創出。	生涯学習課	京丹後アートフェスティバルのARTMAPをととして、市内外の施設や民間団体等との連携を実施。広報連携の募集については、4/23～6/1まで市の広報誌、LINE、SNS等で公募を行い、35団体、43事業と連携した。 また、この広報連携から、Music Fusion in Kyotoの会場にTANGO OPEN CENTERをコーディネートするなど、ネットワークが派生的に広がっている。	R8年度においても、市内の文化的資源にフォーカスした広報物を制作予定。メインプログラムや連携イベント（公募）約40事業を掲載予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
③公共施設などを使いやすい整備します。	④文化ホールのある方や図書館の整備を検討します	・文化芸術関連施設及び、中央図書館の整備推進 京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画にもとづき、中央図書館の新設やあり方について検討を行っている。市民全体へのアンケートや図書館協議会での意見をもとに方針を決定する予定。	生涯学習課 (図書館部分のみ)	都市拠点公共施設整備のための土地確保に係る予算が令和7年6月定例会と令和 8 年 3 月定例会で 2 回否決となったことから、今後の対応方針について現在検討中。	市議会 6 定例会にて「（仮称）中央図書館検討市民会議」の開催経費を含む、令和 8 年度一般会計補正予算第 2 号を提案し、承認を得た。 将来の中央図書館の整備及び既設図書館を含むサービス向上に向けた基本計画の策定を目指し、図書館の有り方を議論する会議を年度内に 3 回開催予定。
④次世代へ文化的資源を継承します	①京丹後の歴史文化を次世代に伝えます	・網野鈿子山古墳の整備 日本海側最大の前方後円墳であり、国史跡に指定されている網野鈿子山古墳の施設整備を行う。網野鈿子山古墳の造られた時期は4世紀後半と推定され、古墳時代を前記・中期・後期・終末期に分けると、前期古墳の時期にあたる。	文化財保存活用課	令和7年4月に、崩れた墳丘の補修、階段の増設、駐車場の設置など、史跡整備が完了。史跡整備完了記念イベントとして、市内外のクリエイターが製作した古墳グッズ等の販売、ちりめんしおり作りのワークショップなどを実施。令和6年度に京丹後アートフェスティバル2024「知るプログラム」で古墳を舞台にWSを行った経緯から、宮北裕美氏・鈴木昭男氏によるパフォーマンス「丹ノ舞」を上演した。 【実施日】4/26(土)【来場者】1000人	網野鈿子山古墳フェスティバルを10/3（土）に開催予定。網野駅で開催が予定されている「全国ローカル鉄道サミット」と連携
		・京丹後市職員まちづくり出前講座 市民団体等からの要望に応じ、出前講座を行うもの。出前講座のメニューは京丹後市ホームページに掲載中（R7.11.18現在94講座）。	教育委員会事務局各課	R7年度においては大宮町の三重区老人会に対し、生涯学習課として1回実施（京丹後市の文化芸術振興政策について）。	R8年度において6月末時点で、実施依頼なし。 依頼があれば、出前講座を実施する。
			文化財保存活用課		北丹後地震から100年の節目となる今年度、震災犠牲者への哀悼の意及び震災の記憶を風化させることなく、次代に伝えていくとともに、市民をはじめ、防災に関係する多くの組織・団体と連携して様々な防災・減災に向けた自助・共助・公助の取組を一層推進することにより、地域防災力の一層の向上、市民の防災意識のさらなる向上を目指し、総務防災課や文化財保存活用課を中心に丹後震災 1 0 0 年記念事業実行委員会による記念事業を開催する。 （1）丹後震災遺構見学ツアー（案） （2）丹後震災 1 0 0 年記念シンポジウム ～丹後震災の記憶を未来へつなぐ～（案） （3）丹後震災 1 0 0 年記念展示（案）、ほか

京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
④次世代へ文化的資源を継承します	②地域の伝統行事や民俗芸能などを次世代に伝えます	・京丹後市市民遺産ならびに市民遺産会議の運用 市民が後世に語り継ぐ歴史文化を「京丹後市市民遺産」として認定することにより、市民が地域に対し誇りと愛着をもつとともに、地域の活性化を図ることを目的として、令和5年度に創設した制度。市民提案型の市民遺産を募集し、会議で決定する。	文化財保存活用課	12月にあらたに1件を認定し、合計 6 件を認定している（R7.12末時点） （久美浜一区秋祭り、資料 吉澤村文書、丹後最古 俵野廃寺、河辺村の歴史遺産、湯船坂古代の丘公園、久美浜町湊宮法泉寺）	市民遺産の認定については随時受付中。 京丹後市市民遺産会議の審議を経て認定を定める。 令和8年度5月に第7号として「大宮町の小字」を認定。
⑤情報を発信します	①イベント、行事、団体などの情報を市内外へ発信します。	・京丹後アートフェスティバル期間内の取組 フェスティバル期間中に市内で行われる文化芸術事業と連携しARTMAPを制作・配布することで、様々な鑑賞機会を一体的に提示する。 また「京丹後アートフェスティバル」のアカウント名でInstagramを運営し情報発信を行う。	生涯学習課	・ ARTMAPの作成および市内外への配布（21,500部）、市HP「みるプログラム」イベントカレンダー、専用Instagram、ケーブルテレビ等での情報発信を実施。 ・ 連携事象は35団体、43事業。広報連携を望んでの新たな後援申請や、来年度以降も連携を望む声を聞いている。	R8年度においても、市内の文化的資源にフォーカスした広報物を制作予定。メインプログラムや連携イベント（公募）約 4 0 事業を掲載予定。
		・ 文化芸術のまちづくり推進会議で情報発信 文化芸術のまちづくり推進会議では、文化芸術活動の経験を有し、専門分野の異なる15人の委員が市へ既存事業の改善策や新規事業の提案等を行っている。 会議：6/24、8/21、9/2、10/7	生涯学習課	R7年度は推進会議を公式で3回、有志による非公式の会議を1回実施。各委員が課題意識を持っている「情報発信」について、継続的に議論を実施してきた。 現在、文化芸術専門のチラシラックを市内各地に配置する方針で、配置場所の選定と調整を行っている。また、運営方法についても同時に検討中。	R8年度は推進会議を年 4 回開催予定。 内容として、 ①市内設置の文化芸術専用ラックの運用、京丹後アートフェスティバル等の広報を中心とした文化芸術における情報発信の磨き上げ ②大宮ふれあい工房を中心とした文化拠点づくりおよび視察等を予定。 会議の展開によっては、推進会議内に部会等を組織し、新規事業（イベント）の計画・予算要求を行うことも想定している。
		・ Instagramでの情報発信 アカウント名「京丹後アートフェスティバル」でInstagramを運営。	生涯学習課	京丹後アートフェスティバルおよびARTMAP（みるプログラム）の連携イベントについて、情報発信を行っている。 【フォロワー】 384人(2/13現在)	京丹後アートフェスティバルおよび連携イベントについて、情報発信を行う。 【フォロワー】 399人(6/30現在)



京丹後市文化芸術振興計画		令和7年度 事業概要	担当課	令和 7 年度 事業実績	令和 8 年度 事業方針
基本方針	基本施策				
⑤情報を発信 します	②助成制度な どの情報を収 集し広く周知 します	・国、府、各種団体の助成制度をまとめ、情報 市民や市民団体等の文化芸術活動、次世代 を対象とした海外派遣、子どもや障害者を 対象とした文化芸術活動、伝統芸能や地域 のお祭り等を対象とした支援・補助金の情 報を市のホームページにて公開し、情報提 供を行っている。	生涯学習課	市ホームページを以下区分にわけ、国・府・市・民間の助成金情 報を掲載中。周知については、市の広報誌およびLINE、SNS等 で配信済。 （１）京丹後市内での活動 （２）京都府内での活動 （３）全国での活動 （４）海外派遣等が対象 （５）子どもを対象にした活動 （６）障害者を対象にした活動 （７）伝統芸能や地域のお祭り等を対象にした活動 （８）そのほか、文化芸術系助成金のポータルサイトや支援制度	引き続き、市民活動に活用できる助成金情報があれば更新し市 ホームページにて発信していく。 また、市の各種広報媒体で周知を図る。 助成金についての問い合わせや、京丹後市韓哲・まちづくりゆめ 基金への文化活動の申請が増えていることから、一定周知がされ ているのではないかと考えられる。
⑥文化芸術を まちづくりに 広く活かし ます	①文化的資源 の魅力を市内 外へ発信しま す	・京丹後アートフェスティバル期間内の取組 みや催しの情報発信 フェスティバル期間中に市内で行われる 文化芸術事業と連携しARTMAPを制 作・配布することで、様々な鑑賞機会を 一体的に提示する。 また「京丹後アートフェスティバル」の アカウント名でInstagramを運用し情報 発信を行う。	生涯学習課	・ARTMAPを市内全戸配布、万博関係会場や京都パープルサンガ のホームタウンイベント、図書館総合展など、市外施設やイベン トで配布を行ったほか、市HP「みるプログラム」イベントカレ ンダーの掲載、専用インスタグラムでの発信。 ・活動範囲が市内に留まらない講師やゲストをプログラムで活用 することによって、本市の文化的資源が外部へと発信されてい る。	R8年度においても、市内の文化的資源にフォーカスした広報物を 制作予定。メインプログラムや連携イベント（公募）約４０事業 を掲載予定。 また、京丹後アートフェスティバルおよび連携イベントについて は、京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議の取り組みと連動し 情報発信を行う。【フォロワー】399人(6/30現在)
	③文化芸術の 力を観光に活 かします。	・～日本のふるさと～京丹後歴史文化めぐり マップの運用 京丹後市に数多く残される多種多様で魅力 的な文化財について、多くの方々に知って いただけるように、デジタルマップで４つ の歴史文化の特徴と11のストーリーを紹 介するもの。	文化財 保存活用課	令和7年度は平均月間PVが約2200PVと目標の2000PVを超えて推 移している。	引き続き、①地質・自然を背景とした歴史文化、②交流・交易、 ③ものづくり、④信仰と食文化、という４つの歴史文化と、それ にまつわる11のストーリーをサイト上で展開していく。また、コ ラムの充実も目指す。
		・文化観光ツアーの実施 大阪・関西万博開催年ならびに網野銚子山 古墳施設整備完了にあわせ、日本海側三大 古墳を巡るツアーを企画、実施。 主催：京丹後市教育委員会、京丹後市観光 公社	文化財 保存活用課	網野銚子山古墳施設整備完了イベント翌日に実施された「まりこ ふんに行く！日本海三大古墳巡りツアー」は、予約開始後すぐに 満席となった。 【実施日】4/27（日）【参加者】40人（満席）	丹後震災100年記念事業実行委員会（事務局：文化財保存活用 課）主催で、10月中旬と下旬の２回、「丹後震災遺構見学ツアー （案）」を開催予定。 郷村断層、丹後震災記念館、峰山小学校旧本館を専門家のガイド 付きで巡るもの。 中学生以上を対象に１回最大20名程度を想定。